

令和3年度第11回 感染症発生動向調査部会

令和4年2月16日

月番：澤田 明

1 前月の感染症発生動向について（2022年第1週～4週・1月）

<全数把握対象疾患>

- 一類感染症の報告はなかった。
- 結核は17例あり、毎週コンスタントに報告された（前年比：63.0%，対2019年比：51.5%）
- 腸管出血性大腸菌感染症は、1例(0157)報告された（前年及び2019年の同期累計：0）
- 四類感染症の報告はなかった。
- 五類感染症
 - ✓ 毎週コンスタントに報告された疾患は、新型コロナウイルス感染症のみであった。
 - ✓ 侵襲性肺炎球菌感染症は2例報告された（前年比：66.7%，対2019年比：25.0%）
 - ✓ 梅毒は6例の報告があった（前年比：120.0%，対2019年比：200%）
- 新型インフルエンザ等感染症
 - ✓ 新型コロナウイルス感染症は、9880例報告された。

<定点把握対象疾患>

- 前月と比較し増加傾向にある疾患
 - ✓ 感染性胃腸炎（前月比：132.9%，前年同期比：433.9%）----ただ全国と比較すると少ない
- 前月と比較し横ばいにある疾患
 - ✓ 突発性発しん（前月比：122.7%，前年同期比：86.9%）
- 前月と比較し減少傾向にある疾患
 - ✓ 手足口病（前月比：45.2%，前年同期比：1700.0%）---前年同期よりかなり多い

2 検討すべき課題

<事務局から>

- 来年度の当部会について

3 情報提供すべき事項

手足口病の例年と比較しての流行

4 その他（感染症対策推進課から）

- 国内鳥インフルエンザ発生状況
- 県内新型コロナウイルス感染症発生状況

<検討結果>